

教育目標：「知性を磨き 心を見つめ チャレンジする生徒」

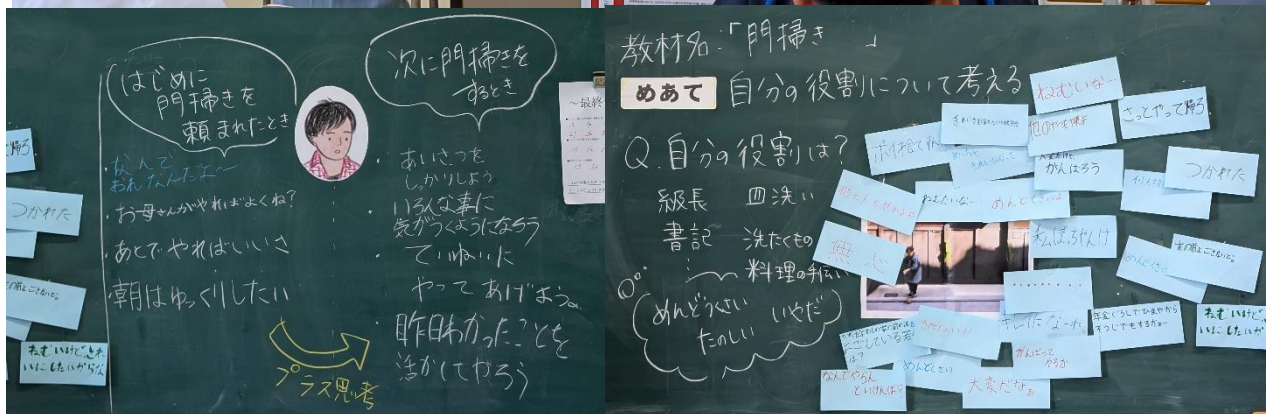


『挨拶を交わし 場を清め 時を守る』

校長 下地 秀隆

令和7年度「新任者研究授業：與座夕里菜（1年4組）」

◆今年度の新任者の一人である「與座夕里菜先生」の道德の研究授業が9月24日にありました◆多くの先生方が詰めかけ、激励を行いました◆テーマは「門掃き」である。社会の一員であるという意識を持ち、普段から周囲に気配りをし、助け合おうとすること自分自身の役割に責任を持って取り組む姿勢を学ぶことを通して、主体的に社会に関わろうとする態度を育てる。ことを、ねらいとし、道德的な価値付けを行い、社会参画や公共の精神における態度を身につける◆4組の生徒の実態に応じた題材であることから、本テーマとした◆



感想：與座夕里菜先生

◆今回の教材「門掃き」を読んだときに、学級の様子と主人公の共通点があると感じました◆自分たちと似た気持ちを抱える主人公について考え、自分事に落としていくことで、自分の役割に対して「面倒くさい」から「〇〇のためにやる」に考え方が変わっていく様子が見られました◆振り返りシートの記述には、「自分の役割に責任を持って取り組みたい」「自分のことは自分でできるようにしたい」「自分のためだけでなく家族や周りのためと思ってやる」など、今後の生活に生かそうとする様子が見られました◆今回の授業がよりより日常生活を過ごすためのきっかけにでもなればいいと思います◆

感想：仲間靖初任者指導教諭

◆導入から終末までの構成が確立されタイムマネジメントも良好に授業を成立させることができた。生徒の価値の深化を良く見取り（評価）、価値の実践へとつなげてほしい。必要があれば特別活動と連携させ、さらに深化させるとよい。